

## 皮膚・排泄ケア認定看護師(外来 大塚)

**便通異常症診療ガイドライン2023—慢性便秘症**についての特集です！！  
ガイドラインを活用し、慢性便秘症の分類、診断を理解し、  
診断治療のフローチャートを活用し、医師との薬剤調整や  
患者・家族指導をすすめていきましょう。図書室にあります。

### 【ガイドラインの主な目的】

日常で遭遇する頻度の高い疾患である慢性便秘症において、  
診療方針を決定する際の情報を提供し慢性便秘症患者の生活の質を改善すること。  
そのために、これまでに利用可能なエビデンスを整理・解釈し、患者の価値観を踏  
まえた上での適切な臨床診断を行うための推奨を提供する。さらに、慢性便秘症に  
携わる医師以外の医療従事者、患者およびその家族に慢性便秘症診察の概要を理解  
するための一助とすること。

### 【ガイドラインの目標】

情報を共有することにより、医療従事者と患者およびその家族が相互に病気を理  
解したうえで慢性便秘症診療を行うために資するガイドラインとすること。

### 【構成】

- 第1章 定義・分類・診断基準
- 第2章 疫学
- 第3章 病態生理
- 第4章 診断検査
- 第5章 内科的治療

- ★フローチャートで診療の指針が示され慢性便秘症治療の標準化が進みました。
- ★薬剤治療の進め方についてもフローチャートで指針が示されています。



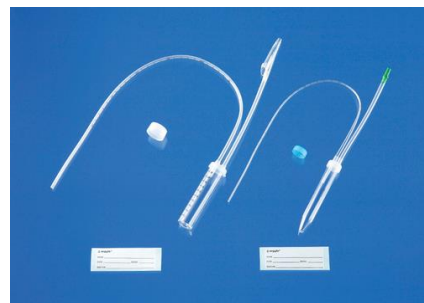
## 感染管理認定看護師(手術室 新田)

抗菌薬の評価をするために大切なこと

### 抗菌薬開始前の培養検体の提出を忘れずに

感染症を疑う患者に対し、抗菌薬が処方されることがあります。抗菌薬の効果  
を評価するために、**抗菌薬を開始する前に**、感染が疑われる臓器の**培養検体を  
提出する**ようにしてください。培養検査の指示がなかった場合、医師に確認す  
るようにしましょう。そして医師の皆様も検査オーダを忘れずをお願いします。

吸引で痰の検体を採取できる「サクシオン  
カテーテルコレクショントラップ付き」は  
病棟の中材システムカートに1本ずつ入り  
ます。活用してください。  
滅菌カップや嫌気ポーター、血液培養の  
カルチャーボトルの請求は検査科にお願  
いします。



### 空気感染の概念が変わる??

COVID-19のパンデミックでは「空気感染」「エアロゾル感染」などの用語が用い  
られ病原体の伝播方法について混乱を招きました。そのためWHOでは「空気を介して  
伝播する病原体の用語提案に関する世界技術報告書」を作成しました。これまで飛沫  
か飛沫核かは5μm粒子の大きさで区別され、飛沫感染か空気感染かで区別されていま  
したが、この報告書では新たな記述が示されています。

- **感染性呼吸器粒子 (Infectious Respiratory Particle, IRP)**  
これまで飛沫・飛沫核(エアロゾル)などと呼ばれていたものを一括りに扱う  
新しい用語(これからは飛沫・飛沫核などと呼ばない！)
- IRPが空気を介して感染を伝播する様式がさらに2つのカテゴリーに分けられました  
①**空気伝播/吸入**：IRPを吸い込んで感染が起きる  
②**直接沈着**：IRPが直接、目、鼻、口の粘膜に飛び込んで感染が起きる

ここまで分類をしたにも関わらず、具体的な感染対策(サージカルマスクか、N95  
か、目の防御は必要か)の提示がなされていません。今後、さらなる報告を待ち、情  
報提供をしていきますので、よろしくお祈いします。